

愛媛県立図書館 読書会協力図書  
新規受入セットのご紹介(YA 高校読書会向け) 平成31年版目録掲載

YA1 人生を考える(哲学・宗教)

YA1-2 君たちはどう生きるか

吉野源三郎著 マガジンハウス 2017年 313p

旧制中学に通う少年コペル君は、二年前に父を亡くし母とお手伝いさんと東京郊外で暮らす。学校生活の様々な出来事に悩みながら、自分で考え模索していくコペル君。母の弟であり法学士の叔父さんの言葉に「自分はどうか生きるべきか」を考えさせられる一冊。70年以上前に書かれた名著の新装版。

YA1-3 僕たちが何者でもなかった頃の話しよう

山中伸弥ほか著 文藝春秋 2017年 204p

あの有名人にも挫折や失敗はあった。山中伸弥(iPS細胞研究所所長)、羽生善治(将棋棋士)、是枝裕和(映画監督)、山極壽一(京都大学総長)が飾らない言葉で語った「あのころの自分」。対談からもその人柄が伝わってくる。自信がない、一歩踏み出す勇気がほしいという人にとって、ヒントとなる言葉が見つかる一冊。

YA1-4 「どうせ無理」と思っている君へ

植松努著 PHP エディターズ・グループ 2017年 175p

北海道にある、従業員20人の小さな会社が作っているのは、なんとロケット。宇宙開発の夢を追い続ける著者が、多くの失敗を繰り返しながら得た「本当の自信」の持ち方を公開する。「本当の自信」は、「どうせ無理」とあきらめていた夢に再びチャレンジする勇気を持つきっかけになるはず。

YA4 自然をみつめる

YA4-2 バッタを倒しにアフリカへ

前野ウルド浩太郎著 光文社 2017年 378p

バッタを愛するあまり接触しすぎてバッタアレルギーになった昆虫学者が赴いたのは、バッタの食害に悩むアフリカのモーリタニア。異文化での奮闘の日々や、成果が認められないと職に就けない研究者の就活を、ユーモアを交えて生き生きと描く。昆虫の知識なしで楽しめて、著者を応援したくなる、波乱万丈の新書大賞2018受賞作。

